

興

20 橋建第 21 号
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 殿

喬木村長 大平 利



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号にて依頼の標記については、別紙のとおり
提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 喬木村

三遠南信自動車道の3工区は環境調査など基礎的な調査等行われているが、山間地域の特性を生かした活性化が図られるよう、氏乗地区で県道上飯田線に接続し現道を利用するルートを検討と早期開通を願う。

都市部に比べ、地理的、社会的条件の厳しい地方は人口の減少、高齢化が大幅に進んでいる。また、地域間格差も拡大傾向にあり、集落の存続が危うく深刻な問題となっている。このことは道路整備の遅れが一つの要因となっており、早急な対策が必要である。地方に手厚い道路予算の確保を要望する。

②—1 地域の現状と抱える課題

長野県 喬木村

○現状

喬木村は、天竜川河岸段丘上にあり、地勢は丘陵、溪谷が入り込む複雑な地形となっています。道路状況は県道33Km改良率58%、村道181Km改良率35%と全国平均及び長野県平均に比べて道路整備が遅れているのが現状です。

大島集落、加々須集落、氏乗集落は役場から遠く、急峻で脆弱な地形から道路整備が立ち遅れており災害時には孤立集落となる危険があります。

村内の交通手段は自家用車の利用がほとんどであるが、交通手段のない高齢者のみの世帯も増加しており、村民の足の確保と安心して通行できる生活道路整備を進めております。

三遠南信自動車道は、環境調査など基本的な調査が行われているが、通過のみにならないよう地域の活性化が計られるようなルートを検討を願う。

○課題

県道は基幹道路であるが、全体的に幅員が狭く歩道未設置のため慢性的な渋滞の解消と、安全な交通確保が早急に求められている。集落内生活関連村道は、維持修繕工事を優先し、1・2級村道は計画的に改良し村民要望に応えられる整備を進めていく必要がある。

三遠南信自動車道は、遠州、三河地域との交流を通じた文化的、経済的波及効果を得るためにも早期開通が望まれる。

②－２ 地域の目指すべき将来像

長野県 喬木村

定住人口7,000人という規模を今後とも維持し、そこに住む村民だれもがはつらつとして、生み、育て、そして安心して暮らせることのできる地域を目指す。暮らしやすい環境づくりには1つとして、村内並びに飯伊広域圏の道路網整備、公共交通機関の整備が重要である。三遠南信自動車道は、経済文化交流、観光客の増加、生活利便性の向上等、地域活性化効果が期待される。3工区（飯田東インター～喬木インター）は、現在環境調査など基礎的調査が行われているが、現在氏乗集落と大島集落を結ぶ広域基幹林道を県営事業により整備をし、森林資源の有効利用と両集落の活性化を図り、村中心部と山間部を結ぶ村道7号線の整備により安心して暮らせる地域を目指しております。道路網計画の中で三遠南信自動車道を氏乗地区の県道上飯田線に接続し、現道を利用し、喬木インターに至ることが、山間部の活性化に繋がり、村の目指す地域の特性を生かした自然豊かな住環境が整備されます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県 喬木村

○重点項目	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
生活関連村道の整備	村道 7 号線拡幅改良 村道 5 1 号線歩道整備	冬期間の交通安全 通学時の安全確保	